

## ▶ 第7章

# 北朝鮮の地方経済の光と影

## ——進まぬ特区開発、国は農業に力点

日本経済研究センター 朝鮮半島経済研究会

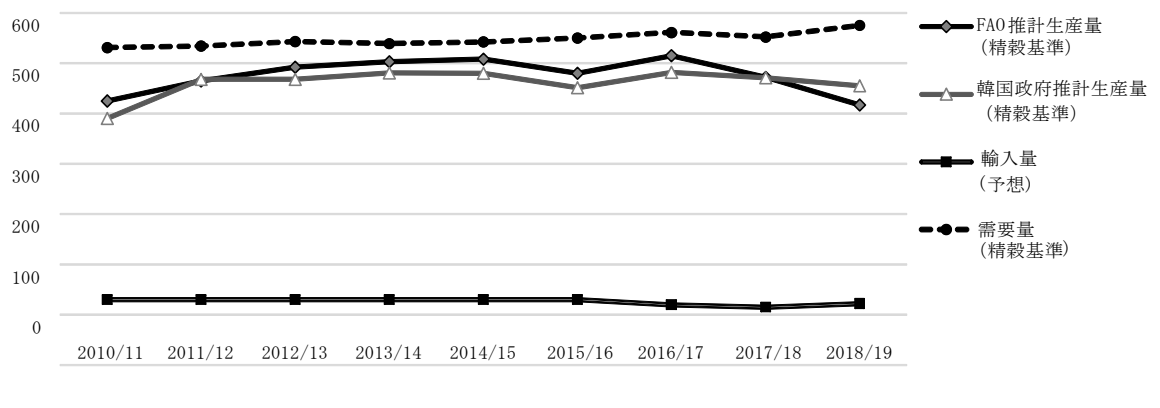
### 【ポイント】

- ▶ 金正恩時代に入ってから北朝鮮の地方経済は、生活関連分野で改善の動きがみられる都市はあるが、重工業分野の再建では遅れも目立つ。
- ▶ 国家主導の開発プロジェクトのほか、地域の特性を生かした経済特区を各地に展開する計画を打ち出したものの、核開発に伴う国際社会による経済制裁が強まる中、外資の導入は進まず、ほとんどが計画倒れの状態だ。
- ▶ 地方の中心産業である農業は、農民の労働意欲を高める「圃田担当責任制」などの制度改革で増産の動きも見られたが、自然災害の影響や農業資材の供給不足で困難に直面している。「自力更生」の経済路線を進める上で、農業振興と穀物の増産が死活的な問題になっている。



注目データ

北朝鮮の穀物生産と需給の推移（単位：万トン）



資料：国連食糧農業機関（FAO）、韓国政府の発表資料など